



7月の園だより

令和7年7月1日

目黒区立祐天寺保育園園長

水や泥の感触が気持ちのいい6月でした。園庭では、連日泥だらけの子どもたちで賑わいました。小さい年齢の子どもたちが、洗面器やたらいの泥で感触を楽しんだあとは次々に出てきた幼児クラスの子もたちによって、庭中が川や沼のようになっていきます。今月はそんな泥遊びの様子をお知らせします。

さて、いよいよプール、水遊びの季節になりました。5歳クラスの子もたちが事前にプール掃除を済ませ、幼児クラスみんなで保育士や看護師から準備の話を知ると期待が膨らんでいきました。プール開き前日「あしたプール楽しみだね」と友達を見送る4歳児の姿がありましたが、てるてる坊主の効果もむなしく、当日は雨でした。ホールの集会では、水の妖精から“水と仲良くなれるという魔法の水”が届いたり、雨の合間をねらい水無しのプールに入ってみたりと期待は膨らむ一方です。そしてようやく水を貯めたプールに入れた日は、歓声をあげながらみんなが満面の笑みになりました。いっばいに膨らんだ期待のせいか、水を怖がることなく大胆に楽しむ姿が多く、保育士は「すごいね、りす組さんの時の〇ちゃんに教えてあげたいね」と昨年と違う姿にそれぞれ声をかけていました。すると、プールから上がった〇さんが、「せんせい、〇ちゃんがこんなに泳げると思わなかったでしょ」と得意顔で尋ねていました。楽しい夏になることでしょう。



そんな子どもたちが健康で安全に過ごせるように、暑さ指数を基準にプール、水遊びを実施してまいります。体調管理や準備物のご協力をよろしくお願いいたします。

7月の行事

七夕集会 (3. 4. 5歳児)

笹焼き (3. 4. 5歳児)

避難訓練・身体計測



《各クラスの砂あそび・泥あそびの様子》

砂、水の性質に触れながら不思議さを感じたり変化を発見したりしています。

ちゅうりっぷ組

0歳クラス「泥って楽しい」

泥を目にした時に『なんだこれは』と驚いた表情をして、触りたがらない姿がありました。保育士や異年齢の子どもたちが楽しそうに泥遊びをする姿を見て、少しずつ興味が湧いてきたようです。最近のことですが洗面器に入ったタプタプの泥を小さな手でしぶきがあがるくらい叩き、見事に顔は水玉模様、感触を楽しむように泥を握り今度は隣に手を伸ばしました。すると隣にいた友達に気付きじっと見つめ、“あれ、お顔に何かついてるよ”と言わんばかりの表情です。物おじせず大胆に泥で遊ぶ子どもたちの姿に思わず笑ってしまいました。



たんぽぽ組

1歳クラス「泥に触れて楽しい気持ち」

ある日、雨上がりの園庭に水溜まりができていました。裸足になって嬉しそうに中へ入る子もいれば、そばでじっと見つめている子もいました。保育士が泥に触れて「気持ちいい」と声をかけると“触ってみようかな”と近づき、指先で泥に触れています。泥の感触に慣れてくると、泥水の上で足踏みしたり手で叩いたりして、泥水のしぶきが上がると「おお！」と驚きの表情を浮かべ、手で触れた時のどろどろした感触も楽しんでいきます。友達と泥の付いた手を見せ合ったり、保育士と泥を足に塗り合ったりして笑い合い、楽しい気持ちを共有する瞬間も増えてきています。



ひまわり組

2歳クラス「ごはんづくり」

砂を入れたバケツに、水を入れてシャベルでかき混ぜながら料理を楽しんでいます。「何かいい匂いがしてきた」と保育士が言うと「スイカカレーだよ」と言い、出来上がるとお皿によそってごちそうしてくれました。ルーに見立てた水分だけでなく、具に見立てた砂も皿によそって本格的です。泥水だけの時はコップに注いで「ジュース」と飲み物にしたり、保育士が水分が少な目の泥を用意するとそれを皿に丸くよそって「ホットケーキ」にしたりと、泥の状態によって様々なものに見立てて泥遊びを楽しんでいます。様々な質感の泥に触れることで、イメージを広げたり感触を楽しんだりしながら泥遊びを楽しんでいます。



りす組

3歳クラス「おおかみの家」

砂場にできていた泥の池に足を踏み入れて遊んでいると足がひざ下まで真っ黒になりました。「おおかみの足だ」と一人が言うと「こっちはおおかみの手」と笑って見せ合っています。その後“おおかみ”が増えていきました。「あそこをオオカミの家にしよう」と言って園庭の砂場近くの壁に真っ黒い手で手形を付け始めました。手型を見て「いいね」と言い、他の友達も加わって、真っ黒な手形模様がいっぱいのおおかみの家が出来上がりました。泥の感触を楽しみながら、その中でもイメージを持って遊びを楽しんでいます。



うさぎ組

4歳クラス「冷たい、あったかい、何でだろう？」

砂場にできた池で4, 5人が穴を掘り、足を入れて「ここまで(くるぶし)深くなった～」と深さ比べをしています。一人の子が友達が掘った穴と自分の穴に交互に足を入れて「あれ？こっちは冷たくて、こっちはあったかいよ」と水温の違いに気付きました。「面白そう」とそこからは、園庭中の水たまりに足を入れ、ドロドロになりながら確認する遊びが始まり「(お日様に照らされて地面が) 明るいとおったかい」と子どもたちなりに答えを出していました。温度差についてはまだ模索中ですが、友達と一緒に探求する面白さを感じています。



きりん組

5歳クラス「友達と一緒に」

『荒木田土』という粘土質の土を使い、田植え用の土作りをしました。タライの中で少しずつ水を足して、小石のような塊を丁寧に潰します。塊が潰され、触り心地がとろとろと変化してくると「足を入れてみよう」と友達と一緒に入り、腕も浸して感触を味わい「気持ちいいから泥んこ大好きになったー」と言いながら楽しみました。その後、田んぼの泥が園庭に流れ出たのをきっかけに、シャベルやバケツも使って園庭での川やダム作りが始まっています。「水持ってきてー」「ここ流すよー」「ここをダムにしようか？」と友達同士で声をかけ合いながら、泥の感触だけでなく、友達と一緒に作上げることを楽しんでいます。

